

# 国際スケート連盟コミュニケーション第2494号

## シングル&ペア・スケーティング／アイス・ダンス

### 第58回ISU総会（2022年）で承認された一般規程，特別規程，技術規程の変更点

#### I. 一般規程

提案第22号

#### 第108条 年齢制限

##### 3. シングル／ペアおよびアイス・ダンスにおける年齢制限

- a) i) 2022～2023シーズンにおいて，国際シニア選手権大会，ISUシニア選手権大会およびオリンピック冬季大会に参加できるのは，かかるISUイベントに先立つ7月1日までに15歳に達したスケーターのみである。
- ii) 2023～2024シーズンにおいて，国際シニア選手権大会，ISUシニア選手権大会およびオリンピック冬季大会に参加できるのは，かかるISUイベントに先立つ7月1日までに16歳に達したスケーターのみである。
- iii) 2024～2025シーズン以降，国際シニア選手権大会，ISUシニア選手権大会およびオリンピック冬季大会に参加できるのは，かかるISUイベントに先立つ7月1日までに17歳に達したスケーターのみである。

#### II. 特別規程 — シングル&ペア・スケーティング／アイス・ダンス

提案第155号

#### 規程第353条第1項h)

- i) ジャンプ・コンビネーションおよびジャンプ・シーケンスは，含まれたジャンプの基礎値を加算したものを基礎値，難度が最も高いジャンプのものをGOEの数的価値とし，1つの単位として評価する。

提案第158号

#### 規程第353条第1項m)

ISUジャッジング・システム — 結果の決定と発表，計算の基本原則

プログラム・コンポーネンツの各項目に対するパネルの点は，さらに以下の係数（シニア，ジュニア共通）を乗じ，プログラム・コンポーネンツ・スコアが総要素点となるべく対等になるようにする。

男子：	ショート・プログラム：	<u>1.67</u>	フリー・スケーティング：	<u>3.33</u>
女子：	ショート・プログラム：	<u>1.33</u>	フリー・スケーティング：	<u>2.67</u>
ペア：	ショート・プログラム：	<u>1.33</u>	フリー・スケーティング：	<u>2.67</u>
アイス・ダンス	リズム・ダンス	： <u>1.33</u>	フリー・ダンス	： <u>2.00</u>
	パターン・ダンス	： <u>1.17</u>		

係数を乗じた点数は四捨五入して小数点以下2桁まで求め，全項目について加算する．合計が演技構成点（プログラム・コンポーネンツ・スコア）となる．

提案第165号

#### 第402条第1項

i) さらに、ペア・スケーティングのジャッジを務めるためには、ISU選手権大会におけるペア・スケーティングのジャッジ実績がないジャッジは  
オリンピック冬季大会の抽選に先立つ48カ月の間に少なくとも1つの国際競技会および少なくとも1つのISUイベントで適切に職務を果たさなくてはならない。

提案第169/171/173/175/177/181/182/183号

第412条第2項c), 第4項c), 第413条第2項c), 第4項c), 第414条第2項c), 第4項c), 第415条第2項c), 第4項c)

c) セミナー参加：推薦を受ける暦年の7月31日に先立つ24カ月間に、ジャッジ／レフェリー／テクニカル・コントローラー／テクニカル・スペシャリストに再任命される者のためのISUセミナー（第417条）を完了していること。役員再任命のためのISUセミナーは、当該技術委員会が組織・管理するウェビナーであってもよい。

提案第190/191号

#### 第420条第6項（新設）

- a) ベーシック・ノービス、インターミディエイト・ノービス、アドバンスト・ノービスの国際競技会における役員年齢の下限  
国際競技会において、ベーシック・ノービス、インターミディエイト・、アドバンスト・ノービスの分野でナショナル役員を務めるには、21歳以上でなければならない。
- b) ベーシック・ノービス、インターミディエイト・ノービス、アドバンスト・ノービスの国際競技会における役員年齢の上限  
国際競技会において、ベーシック・ノービス、インターミディエイト・、アドバンスト・ノービスの分野でナショナル役員を務めるには、75歳以下でなければならない。

提案第196号

#### 第433条：報告書

1. アイス・ダンスのアドバンスト・ノービスおよびシングル、ペア・スケーティング、アイス・ダンスのジュニア・シニア競技会において、レフェリーは、標準書式にのっとりて競技会報告書（オンラインあるいは電子的な書式による）を作成しなければならない。
2. アイス・ダンスのアドバンスト・ノービスおよびシングル、ペア・スケーティング、アイス・ダンスのジュニア・シニア競技会において、テクニカル・コントローラーは、標準書式にのっとりて競技会報告書（オンラインあるいは電子的な書式による）を作成しなければならない。

### III. シングル&ペア・スケーティングおよびアイス・ダンスの技術規程総則

提案第201号

#### 第504条第3項

ショート・プログラム／リズム・ダンスおよび

フリー・スケーティング／フリー・ダンスの採点

#### 3. プログラム・コンポーネンツ

##### a) プログラム・コンポーネンツ（プログラム・コンポーネンツ）の定義

スケーター／ペア／カップルの演技全体を3つの演技構成要素に分けて採点する。3つの演技構成要素とは、コンポジション、プレゼンテーション、スケーティングスキルのことである。

ペア・スケーティングとアイス・ダンスにおいては、両スケーターが等しく基準を満たさなければならない。

##### コンポジション

さまざまな種類の動きを意図をもって組み合わせる、独創的に組み合わせる、練り上げるなどして、調和、統一感、空間、形式、音楽構造とあらゆる面で全体として意味のある形に仕上げることができるか。

構成を評価する際には以下を考慮しなければならない。

- 統一感
- 要素中および要素間のつながり・つながり
- パターンおよび氷面の十分な利用
- 多次元的な動きと空間の利用
- 音楽のフレーズや表現形式を反映した振り付け

### プレゼンテーション

音楽と構成を理解し、心を込め、全身かつ全力でそれを表現できているか。  
演技を評価する際には以下を考慮しなければならない。

- 表現と投射
- エネルギーや動きの多様さ、メリハリ
- 音楽に対する感受性、タイミング
- ユニゾン、一体感、空間把握（ペア・スケーティング、アイス・ダンス）

### スケーティングスキル

ブレードとボディをコントロールし、ステップ、ターン、スケーティングなどスケートらしい動きが  
できているか。

スケーティング技術の評価する際には以下を考慮しなければならない。

- 多彩なエッジ、ステップ、ターン、動き、方向
- エッジ、ステップ、ターン、動き、方向の精度
- バランスとなめらかな滑り
- 流れ
- パワーとスピード

## IV. 技術規程 — シングル&ペア・スケーティング

提案第208号

### 第610条

#### ジャンプ・シークエンス

ジャンプ・シークエンスとは2つまたは3つのジャンプからなるもので（回転数に制限はない）、2番目および／または3番目のジャンプがアクセル系ジャンプであり、1番目／2番目の着地カーブから直接の踏み替えでアクセルジャンプの踏み切りカーブに移るものを指す。

1つのジャンプから次のジャンプまでの間に氷上で1回転しても（フリー・フットが氷に触れるのは構わないが、  
体重移動があつてはならない）、ジャンプ・シークエンスの定義からは外れない。

ジャンプ・シークエンス中に行われたジャンプにはフルの価値が与えられる。

### スピン

スケーターがスピンに入るときに転倒したり失敗した場合、転倒や失敗の直後に（時間を埋める目的で）スピンまたは回転動作を行うことが許されるが、この転倒や失敗の直後に行うスピンまたは回転動作は要素としてカウントされない。

提案第210号

### 第611条第4項：

#### ステップ・シークエンス

ステップ・シークエンスには、表外ジャンプ（回転数は問わない）や表内ジャンプ（1回転以下）を含めることができる。ステップ・シークエンスで1回転以下の表内ジャンプを飛んだ場合、そのジャンプはコールもされないしボックスを占めることもない。

提案第211号

### 第612条第1項：

#### ジュニア・ウェルバランス・プログラム（2022～2023シーズン以降）

男子の場合、ウェルバランスフリー・スケーティング・プログラムに含まれるべき要素は以下のとおり。

- 最大7つのジャンプ要素（そのうち1つはアクセル系ジャンプでなければならない）
- 最大3つのスピン（そのうち1つはスピン・コンビネーション、1つはフライング・スピンまたはフライング・エントランス・スピン、1つは1種類のポジションのみのスピンでなければならない）
- 最大1つのコレオグラフィック・シークエンス

女子の場合、ウェルバランスフリー・スケーティング・プログラムに含まれるべき要素は以下のとおり。

- 最大7つのジャンプ要素（そのうち1つはアクセル系ジャンプでなければならない）
- 最大3つのスピン（そのうち1つはスピン・コンビネーション、1つはフライング・スピンまたはフライング・エントランス・スピン、1つは1種類のポジションのみのスピンでなければならない）
- 最大1つのコレオグラフィック・シーケンス

提案第212号

**第612条第2項：**

**ジャンプ・コンビネーションとジャンプ・シーケンス**

ジャンプ・コンビネーションやジャンプ・シーケンスは、同じまたは異なる種類のシングル、ダブル、トリプルまたはクワドプルのジャンプで構成する。フリー・プログラムでは、ジャンプ・コンビネーションを3回としても、ジャンプ・コンビネーションを2回とジャンプ・シーケンス1回としてもよい。3つのジャンプを含むことができるのはジャンプ・コンビネーション、またはジャンプ・シーケンスの1回のみ。ほかの2回はそれぞれ2つのジャンプまでとする。

**ステップ**

どのような種類のステップ・シーケンスを行うかは競技者の自由である。ステップ・シーケンスには、表外ジャンプ（回転数は問わない）や表内ジャンプ（1回転以下）を含めることができる。ステップ・シーケンスで1回転以下の表内ジャンプを飛んだ場合、そのジャンプはコールもされないしボックスを占めることもない。

ステップ・シーケンスには、1回転を超える表内ジャンプも含めることができるが、その場合、そのジャンプはコールされ、ボックスを占める。ステップ・シーケンスは、氷面を十分に利用したものでなければならない。短すぎてステップ・シーケンスかどうかわかりづらいものは、要件を満たすとみなされない。

**コレオグラフィック・シーケンス**

コレオグラフィック・シーケンスは、スパイラル、アラベスク、スプレッド・イーグル、イナ・バウアー、ハイドロブレーディング、2回転以下のジャンプ、スピン、小リフトなど、2つ以上の異なるムーブメントを組み合わせなければならない。2つ以上のムーブメントのつながりにはステップやターンを使うことができる。

提案第214号

**第 621 条 第 4 項**

**リフト**

リフトはそれぞれ略記号が異なるものでなければならない、グループ5のリフトを2つ行う場合、踏み切りは異なる性質（略記号）のものでなければならない。踏み切りが同じだった場合、2回目に実施された略記号が同じリフトは採点されずにリフトの枠を1つ占める。

**キャリー・リフト**

b) 単なる「キャリー」リフトとは回転動作を伴わず単にパートナーをキャリーすることである。ただし、踏み切りおよび／またはエグジットで男性が半回転のみすることは許される。キャリー・リフトではどのようなホールドも許される。キャリー・リフトでは、キャリー・リフトはオーバーヘッド・リフトの回数に数えない。考慮はコンポーネンツの「コンポジション」において行う。キャリー・リフトには基礎値がなく、回数は制限されていない。

**コレオグラフィック・シーケンス**

コレオグラフィック・シーケンスは、スパイラル、アラベスク、スプレッド・イーグル、イナ・バウアー、ハイドロブレーディング、2回転以下のジャンプ、スピンなど、2つ以上の異なるムーブメントを組み合わせなければならない。2つ以上のムーブメントのつながりにはステップやターンを使うことができる。

## V. 技術規程 – アイス・ダンス

提案第219号

規程第708条第3項

パターン・ダンスの採点

パターン・ダンスの採点

b) 構成点

i) 構成要素の定義

各ジャッジは、技術点（テクニカル・スコア）に加えて、カップルの演技全体を3つの構成要素に分けて採点する。パターン・ダンスの3つの構成要素とは、タイミング、プレゼンテーション、スケーティングのことである（ISUコミュニケーションで別段の定めがないかぎり）。

### タイミング

定義：

音楽に厳密に合わせて滑る両パートナーの能力。

評価項目：

- 音楽に対する感受性
- 音楽に合わせた滑走
- 強拍に合わせた滑走
- 第1ステップの開始が第1拍

### プレゼンテーション

定義：

両スケーターが関わることで、ダンスの説明やそのダンス特有のスタイルに合致するリズムやスタイルを示すこと。

評価項目：

- 表現力と投射
- ユニゾンと空間認識

### スケーティングスキル

定義：パワー、バランス、深いエッジ、片足またはローブから次の踏み変えまたはローブへの楽々とした移行、なめらかな滑り、流れなどにより、ダンスの説明に従ったダンス・ステップやムーブメントを正確に行うカップルの能力。

評価項目：

- ・ エッジ、ステップ、ターン、動作の精度
- ・ 全体的なスケーティングの質
- ・ バランスとなめらかな滑り
- ・ 流れ
- ・ パワーとスピード
- ・ 氷面の十分な利用

国際スケート連盟コミュニケーション第2474号、シングル&ペア・スケーティング

コミュニケーション第2474号は第58回ISU総会の決議で承認され、有効となった。

## VI. ISUコミュニケーション第2463号，第2468号，第2848号（アイス・ダンス）

これらのコミュニケーションはいずれも第58回ISU総会の決議で承認され，有効なものとしてISUウェブサイトに掲載されている。

ソウル，  
2022年6月30日  
ローザンヌ，

Jae Youl Kim, 会長

Fredi Schmid, 事務局長